

(2) 下水道事業会計

下水道事業会計予算の状況は、表7-2のとおりである。

表7-2

(単位：百万円、%)

区 分		平成28年度		平成27年度		増減額
		(A)	増減率	(B)	増減率	(A)-(B)
収益的収支	収 入	31,033	0.2	30,971	1.1	62
	支 出	29,670	△ 0.5	29,813	0.8	△ 143
資本的収支	収 入	17,254	9.7	15,724	3.9	1,530
	支 出	27,416	6.5	25,736	3.0	1,680
支 出 合 計		57,086	2.8	55,549	1.8	1,537

① 基本的な考え方

平成28年度は、安全・安心のまちづくりに向け、大規模地震発生時に下水道の機能を確保するため、下水道管渠及び処理場の耐震化を行うとともに、マンホールトイレの設置を行う。

また、局地的な集中豪雨などによる浸水被害を軽減するため、雨水管渠などの整備を行うほか、引き続き市民による防水板設置の費用の一部を助成する。

さらに、快適な暮らしの基盤づくりに向け、処理場及びポンプ場の機能を適正に維持するため、設備の更新改良を行うとともに、道路陥没などの未然防止のため、管渠の更新改良を行うほか、引き続き污水管渠を整備し、未普及地域の解消に努める。

このほか、南部浄化センターでの資源有効利用、コスト縮減及び温室効果ガスの削減のため、汚泥消化タンクの整備を進めるとともに、良好な水環境を整えるため、中央浄化センターにおいて、高度処理施設の整備を進める。

加えて、市民の利便性や収納率の向上を図るため、上下水道料金徴収一元化の早期実施に向け、千葉県水道局が開発するシステムに、本市が保有するデータを移行するための抽出及び移行テストを行う。

なお、下水道事業の運営については、より一層の経費の節減と管理の効率化を図り、健全な下水道経営に努める。

② 業務の予定量

本年度は、汚水処理世帯数 422,171 世帯、総処理水量は 1 億 2,299 万 385 立方メートルを予定している。この結果、1 日平均処理水量は、33 万 6,960 立方メートルとなっている。

また、主要な建設改良事業については、管渠整備事業費 54 億 3,100 万円、ポンプ場整備事業費 4 億 8,700 万円、処理場整備事業費 49 億 5,600 万円となっている。

③ 収益的収入及び支出

収益的収入については、下水道使用料などの営業収益 228 億 3,600 万円、他会計補助金などの営業外収益等 81 億 9,700 万円、合計 310 億 3,300 万円で増減率 0.2% 増となっている。

収益的支出については、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用 244 億 7,900 万円、企業債利息などの営業外費用等 51 億 9,100 万円、合計 296 億 7,000 万円で増減率 0.5% 減となっている。

④ 資本的収入及び支出

資本的収入については、企業債 127 億 5,300 万円、国庫補助金 37 億 7,900 万円、水洗便所普及事業収入等 7 億 2,200 万円、合計 172 億 5,400 万円で増減率 9.7% 増となっている。

資本的支出については、建設改良費 118 億 2,600 万円、施設利用負担金などの固定資産購入費 7,600 万円、企業債償還金等 155 億 1,400 万円、合計 274 億 1,600 万円で増減率 6.5% 増となっている。